

# 明知鉄道沿線地域 公共交通シンポジウム 2023

## 記録



日時 令和5年12月10日(日曜日)午後1時40分から午後4時10分まで

場所 明智文化センター

主催 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会

後援 中部運輸局岐阜運輸支局、岐阜県、恵那市、中津川市

(一社)岐阜県自動車会議所、(公社)岐阜県バス協会、岐阜県タクシー協会

参加人数 200人

# シンポジウム開会



明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会  
会長挨拶： 柘植克久



挨拶： 小坂喬峰 惠那市長

# 情報提供

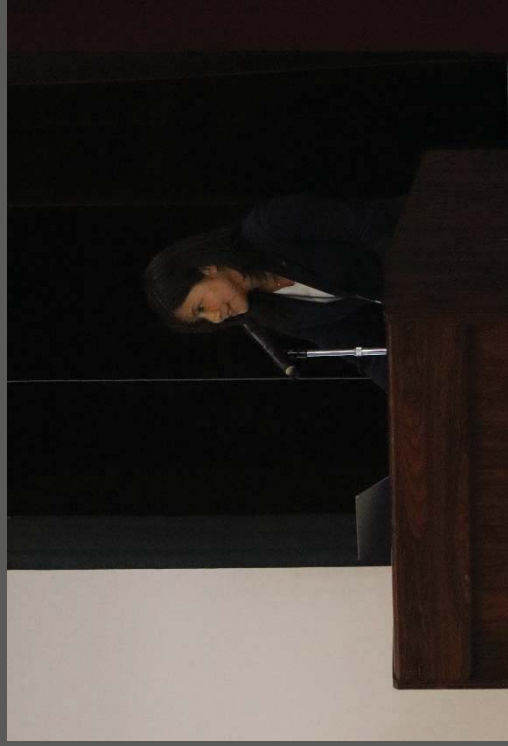
「おでかけ環境のリ・デザインを目指した国の制度変更の活用」

講師：名古屋大学大学院環境学研究科教授 加藤博和氏





# 活動報告



明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会



明知鉄道株式会社



恵那市明智地域



中津川市阿木地域

# パネルディスカッション

テーマ：「地域のおでかけ環境を地域で考えてみよう」

コーディネーター：加藤 博和 氏(名古屋大学大学院環境学研究科教授)

パネリスト：渡辺 康正 氏(明知鉄道(株)代表取締役専務)

野田 昭宏 氏(東濃鉄道(株)営業本部長)

松原 淑明 氏(明智地域自治区運営協議会安心部会長)

鈴木 弘之 氏(NPO法人阿木ふるさと福祉村理事長)

小倉 沙耶 氏(鉄道アーティスト)

松田 泰明 氏(恵那市まちづくり企画部交通政策課長)

勝山 祐樹 氏(国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課長)







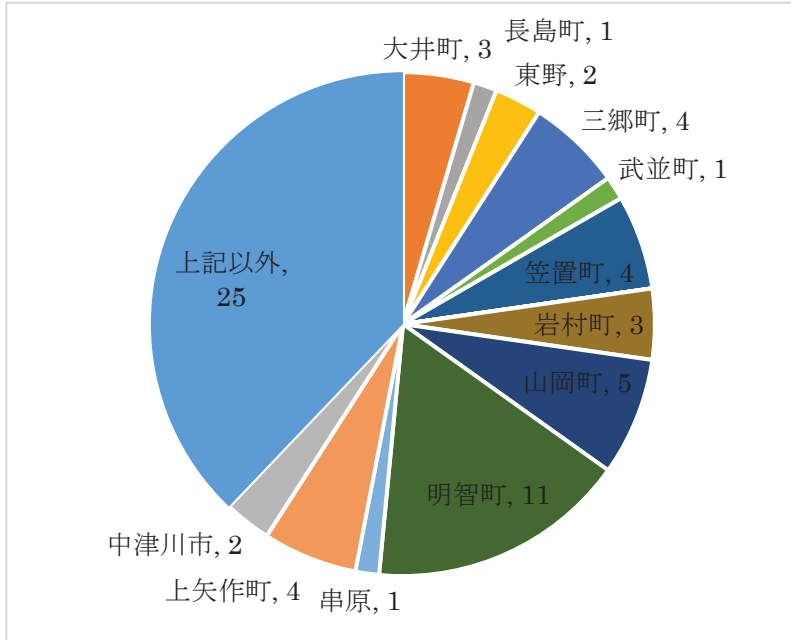
# 公共交通コンシエルジュ バス車両展示・バスの乗り方教室・公共交通機関パネル展示



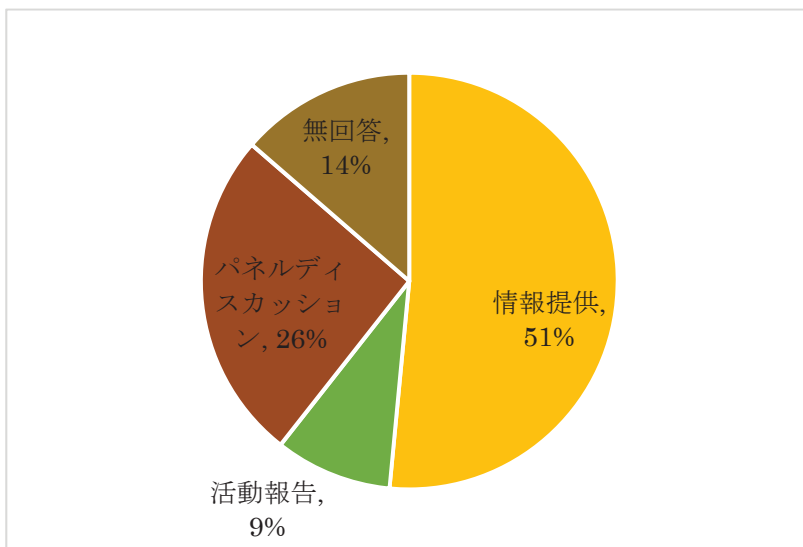
# 明知鉄道沿線地域公共交通シンポジウム2023 アンケート結果

参加者 200人 アンケート回答者 66人（回答率 33%）

## 【質問1】お住まいの地域を教えてください



## 【質問2】一番印象に残ったものは何ですか。

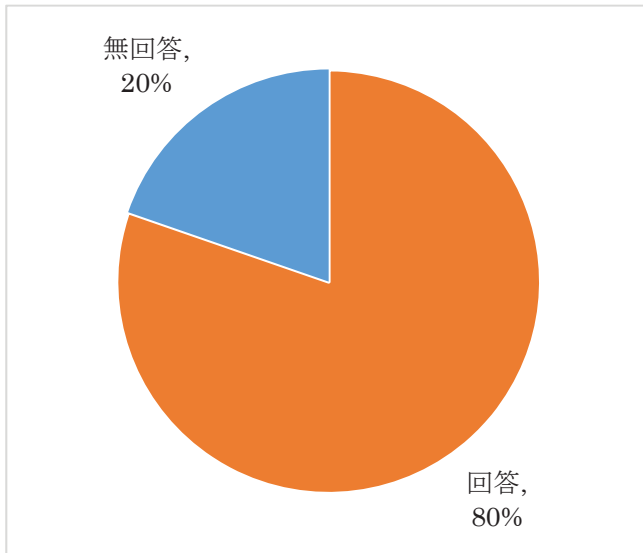


### 主な理由

- ・公共交通＝赤字のイメージが強かったが、講師の保険の例えが非常に印象に残った。
- ・公共交通を全く違う視点で見えており、非常に刺激を受けた。
- ・自分もいずれ公共交通を利用するだろうではいけないことに気づかされた。
- ・自分とは全く違う観点の話で、興味深かった。
- ・車に乗れなくなったら、公共交通を利用することはないという言葉が印象に残った。
- ・公共交通のり・デザインの趣旨と理念が分かり易く印象に残った。
- ・地域で公共交通を考えることが大事であること。



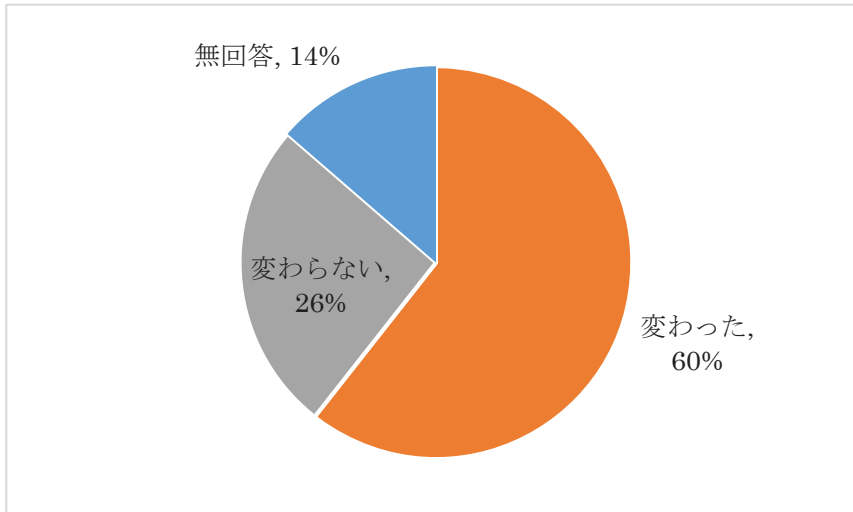
**【質問3】 地域のおでかけ環境を整えるには、自分は何をすべきか。**



**主な内容**

- ・自分が元気なうちに公共交通を利用し、色々な活用方法を地域で考えていきたい。
- ・公共交通を利用して通勤したい。
- ・一人ひとりの意識を変え、共通の意識をもてるようにする。
- ・民生委員として、高齢者など多くの人に伝えることができたらと思う。
- ・自ら利用して地域の人に伝えていくこと。
- ・自分の地域のコンシェルジュになりたいと思った。

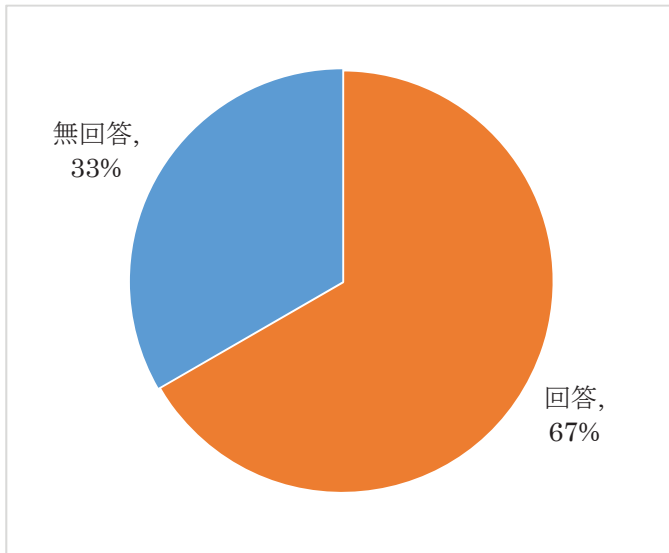
**【質問4】 シンポジウムに参加して公共交通に対する考え方が変わりましたか。**



**主な内容**

- ・住みやすい地域作りには、欠くことのできない事業であると考えます。
- ・人口減少の中、非常に重要な問題であることへの認識が高まった。明知鉄道に乗ってくれる人に楽しんでもらい、沿線全体の観光資源として価値を高める必要がある。
- ・地域の一員として地域の活性化を考え、公共交通を活用したい。
- ・公共交通は社会の保険であるという考え方を学んだ。
- ・公共交通の整備・維持が大事なものは以前より重々承知であり、今後もその考えを変えることはない。「人口が減少しても、移動は魅力を増やせる」魅力があれば人は動くということがよく分かった。

## 【質問5】 シンポジウムの感想を教えてください。



### 主な内容

- ・ 地域経済の継続・存続に公共交通に求められる役割は重要であることをよく理解できた。公共交通が栄えているまちづくりが大切。
- ・ 高齢者等が利用するのではなく、元気な人でも利用し、利便性も考えていかないとダメだ。
- ・ 将来の健康も考え、マイカー通勤を減らしていこうと強く思った。
- ・ シンポジウムに参加して、公共交通がいかに大事か理解した。公共交通は全市民で考えていくことが重要と感じた。
- ・ 公共交通のあり方が将来の地域活性化の重要課題であることが勉強になった。地域の方に PR していきたい。
- ・ 制度や情報について、知らない人にどう伝えるのかが大切で、そのためには市やNPO、自治会、事業者が上手く今日の参加者が一回でも多く鉄道やバスを利用しておでかけしてくれれば、地域の活性化に繋がると感じた。連携を取り合うことが大切と感じた。
- ・ 公共交通の維持には地域の人々の認識理解が必要ですが、維持には収入を考える必要もあると考える。
- ・ 地域で力を合わせて活動できる体制づくりの難しさが理解できた。